

平成30年3月2日

保護者の皆様

仙台市立東仙台中学校
校長 志賀 茂伸

平成29年度 学校評価アンケート結果について（お知らせ）

早春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に関して、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本校では「心身共に健康で、豊かな人間性と確かな学力を身に付け、社会の変化に主体的に対応できる生徒の育成」の実現に向け、毎年、学校評価アンケート調査を実施し、教育活動の改善に生かしております。このたび、保護者の皆様ならびに生徒の皆さんにお願いしました学校評価アンケート調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

記

1. 生徒アンケート結果について

11月に全校生徒に実施したアンケートの回答をA～Dの4段階の割合（パーセンテージ）について、別紙のとおり数字と棒グラフで示しました。全体の傾向としてはA「よくあてはまる」とB「ややあてはまる」を合わせた割合としては全24項目の調査項目中、22項目が80%を超えており、概ね良好な結果となりました。特に、番号2の「学校は、生徒が活躍できる行事づくりを行っている」はA・B合わせて98.1%、番号7の「先生方は、分からないことや質問に対して分かるように説明してくれる」がA・B合わせて97.9%、番号20の「自分は、人の意見や考えをきちんと聞いている」がA・B合わせて98.3%と高い数値を示しています。一方、番号16「自分は、家族の手伝いをよくしている」がA・B合わせて77.1%、番号24「自分は、スーパーアルカスやあいさつ運動、部活動での清掃活動などのボランティア活動に参加している」がA・B合わせて73.6%と80%をやや切る数値となりました。番号24に関しては昨年度から取り組み始めた「協働型学校評価の重点目標」に関するものでありますが、学校において生徒の多くはスーパーアルカスでの活動をはじめ、様々な活動を積極的に行っているという実態があります。これらのことを受けこれからも、学校全体でボランティア活動を推奨しながら、生徒への意識付け・意欲付けを進めていきたいと考えております。

2. 保護者アンケート結果について

全体の傾向としてはA・B合わせた割合では全24項目中、19項目が80%を超えており概ね良好でした。80%に満たない5項目は番号13の「お子様は、家でも家族の手伝いをよくしている」がA・B合わせて66.2%、番号14の「お子様は、家でも進んで勉強をしている」がA・B合わせて65.9%、番号19の「お子様は、スーパーアルカスやあいさつ運動、部活動での清掃活動などのボランティア活動に参加している」がA・B合わせて63.9%、番号22の「PTAの行事（保護者会や懇談会など）に積極的に参加している」がA・B合わせて54.3%、番号24の「地域（町内会、市民センターなど）の行事、防災活動、ボランティア活動などに親子で参加している」がA・B合わせて43.4%と80%を切る数値となりました。なかでも生徒アンケートと同じく番号24に関しては「協働型学校評価の重点目標」

に関するものでありますが、生徒アンケート結果のA・B合わせて73.6%と比較して10%程度低い結果が出ています。このことから保護者の皆様に学校において行ったボランティア活動についての記録等を学校だよりやホームページを通して更に周知していくことを考えております。

最後に、先日、学校評議員やPTA役員にお集まりいただき、学校関係者評価委員会が開催されました。この会においては、本校における「学校評価アンケート結果」や「仙台市標準学力検査結果」、「仙台市生活・学習状況調査結果」、「仙台市いじめ実態把握調査結果」等の報告と活発な意見交換が行われました。その中の主なものとしては、家庭での手伝いの必要性やスマートフォンの適切な使用法、地域防災訓練等におけるボランティアの有効性、確かな学力を育成するための方策、あいさつの大切さなどが話題として上がりました。東仙台中学校としましてはこれらの貴重な意見を基に、平成30年度の学校経営方針や教育課程の編成に生かしていく方針でおります。そして次年度も生徒の一人一人にとって、生命を尊重する心、他者を思いやる豊かな心が育まれ、いじめや暴力のない安全、安心な学校となるよう全教職員が教育活動にあたって参ります。保護者の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

評価は、A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない です。

番号	内 容	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
1	学校は、学校生活(学習, 生活, 進路など)の目標を示している。	61.0	35.3	3.3	0.4	
2	学校は、生徒が活躍できる行事づくりを行っている。	66.2	31.9	1.7	0.2	
3	学校は、いじめや暴力などのない落ち着いた学校づくりに取り組んでいる。	46.9	44.2	7.2	1.8	
4	先生方は、日常的なふれあいを通して、信頼関係を作ろうと努力している。	55.9	40.0	3.1	1.0	
5	先生方は、学校生活で困ったことやいろいろな悩みの相談に、一人ひとりのプライバシーを考慮しながら対応している。	54.7	37.9	6.6	0.8	
6	先生方は、将来の進路や職業についてアドバイスを行ってくれる。	54.3	36.6	8.2	1.0	
7	先生方は、分からないことや質問に対して分かるように説明してくれる。	67.4	30.5	1.6	0.6	
8	先生方は、いろいろな場面で、生徒の言動を認めたり、ほめたりしている。	61.2	34.4	3.9	0.6	
9	先生方は、いろいろな工夫をしながら、生徒に分かりやすく、一人ひとりの考えを発表できる授業を行っている。	55.3	39.8	4.9	0.0	
10	先生方は、授業や行事、委員会で話し合いを進めるとき、生徒の意見を尊重している。	62.1	34.2	3.5	0.2	
11	自分は、学校生活が楽しいと思っている。	61.5	31.1	5.3	2.1	
12	自分は、合唱祭・文化祭・継走祭など、学校の行事に積極的に参加している。	71.5	23.4	3.9	1.2	
13	自分は、規則正しい生活習慣ができています。	55.0	34.5	8.3	2.1	
14	自分は、学校のルールをきちんと守って生活している。	69.4	27.7	1.6	1.4	
15	自分は、家で予習や復習をしている。	47.3	36.2	13.4	3.1	
16	自分は、家族の手伝いをよくしている。	37.2	39.9	17.3	5.6	
17	自分は、清掃や係活動、委員会活動などを進んで行っている。	62.4	29.4	6.4	1.8	
18	自分は、人の気持ちを考えて思いやりの心を持って学校生活を送っている。	58.2	38.2	2.4	1.2	
19	自分は、自分の意見や考えをきちんと言っている。	43.8	37.5	16.3	2.3	
20	自分は、人の意見や考えをきちんと聞いている。	66.5	31.8	1.6	0.2	
21	自分は、あいさつ(おはよう・行ってきますなど)や返事をしている。	73.6	22.7	2.9	0.8	
22	自分は、毎日15分程度、家族と会話をしている。	76.1	17.5	4.7	1.7	
23	自分は、地域の知っている方々へあいさつをしている。	60.1	29.7	7.0	3.3	
24	自分は、スーパーアルカスやあいさつ運動、部活動での清掃活動などのボランティア活動に参加している。	44.2	29.4	15.4	10.9	

平成29年度 学校評価アンケート結果 (全校保護者用グラフ ①)

仙台市立東仙台中学校
H29.11月

評価は、A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない です。

番号	質問内容	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
1	学校は、教育目標や学年・学級の経営方針を伝えるようにしている。	39.3	56.1	4.1	0.4	
2	お子様は、学校に毎日楽しく通学している。	57.0	35.1	6.6	1.3	
3	学校では、生徒が活躍できる行事を行っている。	53.2	43.6	3.2	0.0	
4	学校は、いじめや暴力のない、落ち着いた学校づくりに取り組んでいる。	27.2	62.7	9.5	0.6	
5	学校は、生徒の悩みや問題などがあつたとき、迅速に対応している。	29.8	57.8	11.1	1.3	
6	学校は、生徒や家庭のプライバシーに対して配慮している。	41.5	55.5	2.8	0.2	
7	学校は、生徒のことをよく理解しようと努めている。	34.0	54.3	11.0	0.6	
8	学校は、生徒の学習について授業など適切な指導している。	28.1	59.7	11.5	0.6	
9	お子様は、学習意欲を持ち、授業に取り組んでいる。	23.7	57.3	15.1	3.9	
10	学校は、職場体験や高校調べなど将来の進路や職業についての指導に積極的に取り組んでいる。	35.1	51.8	11.8	1.3	
11	学校は、緊急事態（事故など）が発生した場合、適切に対応している。	48.4	47.7	3.5	0.4	
12	お子様は、ルールを守り、きちんとした生活を送っている。	38.8	52.8	7.7	0.6	
13	お子様は、家でも家族の手伝いをよくしている。	21.0	45.2	28.7	5.1	
14	お子様は、家でも進んで勉強をしている。	22.3	43.6	27.7	6.4	
15	学校は、各種行事や授業参観や懇談会など保護者の方々と交流する機会を多く持っている。	36.8	56.6	6.2	0.4	
16	学校は、家庭訪問や三者面談など家庭との連携・協力を積極的に進めている。	39.2	55.5	5.1	0.2	

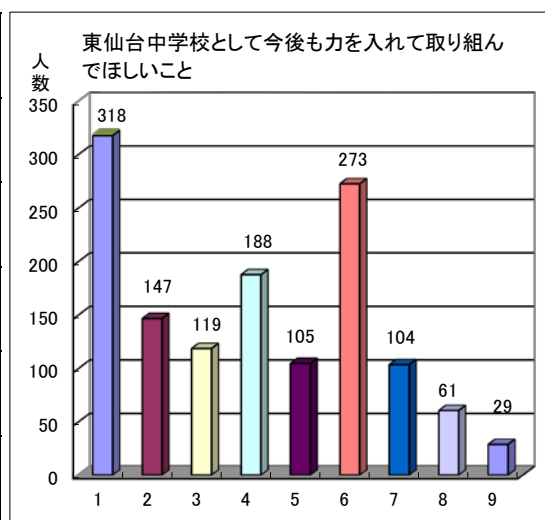
平成29年度 学校評価アンケート結果 (保護者用グラフ ②)

仙台市立東仙台中学校
H29. 11月

番号	質問内容	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
17	学校は、保護者や地域の願いに応えようと努力している。	30.1	62.3	7.4	0.2	
18	学校から出す便り(学校・学年・学級便り)などで情報を発信している。	49.9	46.5	3.2	0.4	
19	お子様は、スーパーアルカスやあいさつ運動、部活動での清掃活動などのボランティア活動に参加している。	29.8	34.1	23.4	12.7	
20	家庭においてお子様と、毎日15分程度の会話をしている。	68.7	25.1	5.4	0.9	
21	PTAの活動の様子や行事の案内などがわかりやすく伝わっている。	32.0	53.3	14.0	0.6	
22	PTAの行事(保護者会や懇談会など)に積極的に参加している。	18.2	36.1	33.9	11.8	
23	地域の方々に対して、あいさつをするようにお子様に声掛けしている。	42.9	45.3	10.1	1.7	
24	地域(町内会、市民センターなど)の行事、防災活動、ボランティア活動などに親子で参加している。	11.8	31.6	34.0	22.6	

東仙台中学校として今後も力を入れて取り組んでほしいこと (人数)

①	少人数授業などの「分かる授業」への取組	318
②	朝の時間を有効に使った「学力向上」への取組	147
③	「総合的な学習の時間」を有効に使った、課題学習への取組	119
④	道徳の時間を大切に「心の教育」への取組	188
⑤	生徒会活動・部活動など、生徒の自主性を育てる活動への取組	105
⑥	将来の自分を真剣に考えさせる「進路学習」への取組	273
⑦	コンピュータなどの情報機器を活用した授業への取組	104
⑧	ボランティア活動を含めた地域との交流活動への取組	61
⑨	授業参観など「開かれた学校づくり」への取組	29



平成29年度 学校評価アンケート調査結果

「協働型学校評価目標」に関するもの

☆ 協働型学校評価における到達目標 (平成29年度 2年目)

『ボランティア活動の推進』
～生命を尊重する心, 他者を思いやる心, 豊かな心の育成～

1. 生徒アンケート結果における協働型学校評価目標に関わる回答① (平成29年度)

※ A → 「よくあてはまる」, B → 「ややあてはまる」, C → 「あまりあてはまらない」, D → 「あてはまらない」
(%)

質問内容	学年	A	B	C	D	A+B
自分は、スーパーアルカスやあいさつ運動、部活動での清掃活動などのボランティア活動に参加している。	全校生徒	44.2	29.4	15.4	10.9	73.7
	1学年生徒	41.9	26.9	17.2	14.0	68.8
	2学年生徒	47.3	31.3	10.7	10.7	78.7
	3学年生徒	37.5	26.1	15.3	21.0	63.6

昨年度より、協働型学校評価目標が改訂されたことに伴い、昨年新たに追加された質問項目に「スーパーアルカスやあいさつ運動、部活動での清掃活動などの」という例示の文言が加えられた質問内容である。アンケート結果は「ボランティア活動に参加」に肯定的な回答(A+B)をした生徒は、生徒全体の73.7%で目標の75%(昨年度目標より5%アップ)に対して1.3%下回っている。学年別で見ると2学年生徒が最も高く、肯定的な回答(A+B)をした生徒は、学年全体の78.7%であった。一方、3学年生徒は最も低く、学年全体の63.6%であった。

2. 生徒アンケート結果における協働型学校評価目標に関わる回答② [全校生徒] (経年変化)

*質問内容が変更されているので、「H29年度」は参考扱いとします。(%)

質問内容	年度	A	B	C	D	A+B
[H28年度まで] 自分は、清掃や係活動、委員会活動、ボランティア活動などを進んで行っている。 [H29年度] 自分は、スーパーアルカスやあいさつ運動、部活動での清掃活動などのボランティア活動に参加している。	H25	41.7	46.0	10.1	2.1	87.7
	H26	42.5	42.5	12.1	3.0	84.9
	H27	43.1	41.6	10.4	5.0	84.7
	H28	40.0	46.4	10.4	3.3	86.4
	H29	44.2	29.4	15.4	10.9	73.7
前年増減(参考)	4.2	-16.9	5.1	7.6	-12.7	

(参考)

昨年度までの過去4年間、特別活動の一環として網羅的にボランティア活動を含めて生徒に調査したものと今年度、質問内容を改めたものの経年変化を見たものである。内容が異なるので参考扱いとしているが、部分的に昨年度からの協働型学校評価目標の指標として見ると、今年度、肯定的な回答(A+B)をした生徒は、生徒全体の73.7%で昨年度より12.7%下回っている。

3. 保護者アンケート結果における協働型学校評価目標に関わる回答 (平成29年度)

※ A→「よくあてはまる」、B→「ややあてはまる」、C→「あまりあてはまらない」、D→「あてはまらない」
(%)

質問内容	学年	A	B	C	D	A+B
お子様は、スーパーアルカスやあいさつ運動、部活動での清掃活動などのボランティア活動に参加している。	全校保護者	29.8	34.1	23.4	12.7	63.9
	1学年保護者	31.8	28.5	26.3	13.4	60.3
	2学年保護者	30.8	37.0	24.0	8.2	67.8
	3学年保護者	26.2	38.3	19.1	16.3	64.5

今年度より、協働型学校評価目標が改訂されたことに伴い、新たに追加された質問項目における保護者アンケート結果である。子供が「ボランティア活動に参加している」に肯定的な回答(A+B)をした保護者は、保護者全体の63.9%である。学年別で見ると2学年保護者が最も高く、肯定的な回答(A+B)をした保護者は、学年全体の67.8%であった。一方、1学年保護者が最も低く、学年全体の60.3%であった。

4. 教職員アンケート結果における協働型学校評価目標に関わる回答 (平成29年度)

※ A→「よくあてはまる」、B→「ややあてはまる」、C→「あまりあてはまらない」、D→「あてはまらない」
(%)

質問内容	年度	A	B	C	D	A+B
ボランティア活動を通して、生命を尊重する心、他者を思いやる心、豊かな心の育成を目指した協働型学校評価の趣旨や内容は、学校、保護者、地域に周知されたか。	H29	43.3	56.7	0.0	0.0	100.0

昨年度より、協働型学校評価目標が改訂されたことに伴い、新たに追加された質問項目における教職員アンケート結果である。教職員が「協働型学校評価の趣旨や内容が周知された」に肯定的な回答(A+B)をした教職員は、教職員全体の100.0%である。

参考

★ 一昨年度までの協働型学校評価目標

「コミュニケーション能力の向上

～自分の意見や考えをきちんと表現できる生徒の育成～」

1 人の意見や考えを聞く力

質問内容	年度	A	B	C	D	A+B
自分は、人の意見や考えを きちんと聞いている。	H22	26.3	58.5	12.7	2.5	84.8
	H23	33.4	55.0	9.5	2.1	88.4
	H24	33.4	55.0	10.4	1.2	88.4
	H25	39.7	52.5	6.9	0.9	92.2
	H26	43.3	49.8	6.0	0.9	93.1
	H27	53.3	39.6	5.6	1.5	92.9
	H28	51.2	44.1	4.0	0.7	95.3
	H29	66.5	31.8	1.6	0.2	98.3
	前年増減	15.3	-12.3	-2.5	-0.5	3.0

※ A→「よくあてはまる」、B→「ややあてはまる」、C→「あまりあてはまらない」、D→「あてはまらない」

本年度実施した生徒へのアンケート調査では、人の話を「きちんと聞いている」と答えた生徒数は、全体の66.5%で前年度より15.3%上昇している。「ややあてはまる」と合わせると前年より3.0%上昇し、98.3%と高い数値を示している。

2 自分の意見や考えを言う力

(%)

質問内容	年度	A	B	C	D	A+B
自分は、自分の意見や考えを きちんと言っている。	H22	16.7	36.5	37.0	9.8	53.2
	H23	22.5	41.7	30.9	4.8	64.2
	H24	22.9	43.7	27.3	6.2	66.6
	H25	28.8	45.1	23.9	2.1	73.9
	H26	34.0	46.1	16.1	3.9	80.1
	H27	36.0	43.3	16.6	4.1	79.3
	H28	36.5	40.7	17.0	5.8	77.2
	H29	43.8	37.5	16.3	2.3	81.3
	前年増減	7.2	-3.1	-0.7	-3.5	4.1

※ A→「よくあてはまる」、B→「ややあてはまる」、C→「あまりあてはまらない」、D→「あてはまらない」

本年度実施した生徒へのアンケート調査では、自分の意見や考えを「きちんと言っている」と答えた生徒の割合は、全体の43.8%で前年度より7.2%上昇している。「ややあてはまる」と合わせると前年より4.1%上昇し、81.3%となっている。